大分合同新聞

ワークシート

カメルーン通信

年　　組　　名前

① 記事を読むと、カメルーンでは4つの気候帯を体験できるそうです。4つとも抜き出しましょう。

（　熱帯雨林気候　）

（　サバンナ気候　）

（　ステップ気候　）

（　湿地帯　）

② 河野さんが不思議に思っていることを、記事の中から抜き出しましょう。

250もの民族がおり、宗教もキリスト教とイスラム教が共存していますが、民族紛争も宗教対立もない

③ 記事の中にアフリカの地図がありますが、カメルーン以外の国はどれだけ知っていますか？思いつく国名を書いてみましょう。

カメルーン通信

青年海外協力隊奮戦記

カメルーンは2002年、サッカーの日韓ワールドカップの際に大分・中津江村でキャンプをして一躍有名になりました。村民の皆さんは今でも熱烈にカメルーンを応援しており、両者は強い絆で結ばれています。ただ、サッカー以外となれば未知の国ではないでしょうか。まずは基本情報をお届けします。

河野雄太さん

キリスト教とイスラム教共存

250民族、紛争なし

カメルーンは、アフリカ大陸中央部に位置する共和国です。英語とフランス語が公用語で英語圏とフランス語圏が共存し、首都など大都市では人々は当然のように2カ国語を話します。

気候ですが、南部州から首都へ続く道路沿いは熱帯雨林気候のジャングルに覆われています。首都を抜けて北上すると熱帯雨林は姿を消し、低木が点在するサバンナ気候、乾燥帯のステップ気候を経て、チャドとの国境付近では湿地帯になります。国内でアフリカのほぼ全ての気候帯を体験できることからアフリカの縮図を意味する「ミニアフリカ」と呼ばれています。日本の夏と比較しても、北部エリアを除けば全体的に涼しく過ごしやすいです。

250もの民族がおり、宗教もキリスト教とイスラム教が共存していますが、民族紛争も宗教対立もない不思議な国です。世界各地で紛争が続く中、これだけでもカメルーンという国に興味を持ってもらえるのではないでしょうか。

（青年海外協力隊カメルーン派遣・河野雄太、随時掲載）

熱帯雨林の森を流れるニョン川。カメルーンの夏は意外にも日本より過ごしやすいという＝カメルーン・エボゴ

（2016年10月22日付夕刊社会面）

解答多数につき省略。地図帳や地球儀で調べてみてください。